

令和5年度 秋田社会福祉専門学校 自己評価結果

1. 教育方針

本学園の三綱領である「創造」「礼儀」「明朗」を教育理念の根幹におき、全教職員が一丸となり実践的技術教育及び資格取得教育を第一に考え、熱意ある授業を進め、質の高い教育、且つ、力のつく指導を行うことを教育方針とする。

- ①「資格取得」に向けた徹底指導・教育を行う
- ②職業に必要な実践的かつ専門的な能力を養成する
- ③地域社会の発展に貢献する人材を育成する

2. 学校の教育目的

本校は、教育基本法並びに学校教育法に従い、高等学校における教育の基礎の上に、福祉業界における多様で質の高いニーズに対応できる高度で実践的・総合的な知識・技術をもった主体的で心豊かな人材を育成するため、高齢者等の介護援助及び社会福祉の行政、並びに福祉の相談援助に関する専門的な教育を行い、介護福祉及び社会福祉全般に貢献できる人材を養成することを目的とする。本校は大学との通学通信併修制度を設けており、専門学校と大学を同時に卒業することができる。専門学校の資格指導教育と大学の専門教育との融合によるW入学制度を実践しており、社会福祉・心理・精神保健福祉分野に於いては、平成28年度より4年制大学通信教育部との併修W入学制度を開設している。広く社会福祉の仕事において社会貢献の出来る人材養成を教育目的に据えている。

3. 自己評価の段階

4…適切 / 3…ほぼ適切 / 2…やや不適切 / 1…不適切

4. 自己評価結果並びに今後の活用等について

令和4年度の自己評価は、次の通りの結果となりました。また、評価結果の活用等については、全教職員へ報告を行うとともに、情報や課題の共有を計り、色々な面から分析し、取り組むべき課題等を明確化し、今後、更に充実した学校運営のため活用を図っていきたいと考えています。

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価 (%)			
		4適切	3ほぼ適切	2やや不適切	1不適切
1	学校の教育理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	100	0	0	0
2	学校における職業教育の特色があるか	100	0	0	0
3	学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	66.7	33.3	0	0
4	各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	100	0	0	0

<課題>

幅広い福祉系就職に対する理解度の醸成。

<改善策>

企業面談の機会を多く持つこと。

(2) 学校運営

	評価項目	評価 (%)			
		4適切	3ほぼ適切	2やや不適切	1不適切
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	83.3	16.7	0	0
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	83.3	16.7	0	0
3	校務分掌の組織は教職員に明示され、きちんと機能し効率的なものになっているか。	100	0	0	0
4	教育活動等に関する情報公開は適切になされているか	100	0	0	0
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	100	0	0	0

(3) 教育活動

	評価項目	評価 (%)			
		4適切	3ほぼ適切	2やや不適切	1不適切
1	学校の教育理念、各学科の教育目標に沿った教育課程の編成がなされているか	83.3	16.7	0	0
2	教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	83.3	16.7	0	0
3	授業の目標に対して、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	66.7	33.3	0	0
4	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	83.3	16.7	0	0
5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	83.3	16.7	0	0
6	授業評価の実施・評価体制は整っているか	83.3	16.7	0	0
7	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	100	0	0	0
8	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	100	0	0	0
9	目標資格の内容・取得意義を明確化しているか	100	0	0	0

<課題>

より質の高い教育の提供の検討。

<改善策>

演習・実習の充実を図ること。

(4) 学修成果

	評価項目	評価 (%)			
		4適切	3ほぼ適切	2やや不適切	1不適切
1	就職率の向上が図られているか	100	0	0	0
2	学生の就職活動状況を把握している	100	0	0	0
3	資格取得率の向上が図られているか	100	0	0	0
4	中退率低減に向けた学内の連携体制はあるか	100	0	0	0

<課題>

就職率、卒業後の資格取得（国家試験合格）等の周知。

<改善策>

就職率、卒業後の資格取得（国家試験合格）等、成果についての周知広報力向上を図る。

(5) 学生支援

	評価項目	評価 (%)			
		4適切	3ほぼ適切	2やや不適切	1不適切
1	就職・進路支援のための組織体制はあるか	100	0	0	0
2	学生相談に関する体制は整備されているか	83.3	16.7	0	0
3	学生に経済的支援制度利用についての情報提供を行っているか	100	0	0	0
4	学生の生活環境への支援は行われているか	83.3	16.7	0	0
5	保護者と適切に連携しているか	66.7	33.3	0	0

<課題>

教職員間での情報の共有の迅速化。

<改善策>

職員会議に加え、効率的迅速な情報共有を図る。

(6) 教育環境

	評価項目	評価 (%)			
		4適切	3ほぼ適切	2やや不適切	1不適切
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	50	50	0	0
2	学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	83.33	16.67	0	0
3	防災に対する体制は整備されているか	100	0	0	0

<課題>

施設・設備の拡充。

<改善策>

更なる施設・設備拡充を図る。

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	評価 (%)			
		4適切	3ほぼ適切	2やや不適切	1不適切
1	学生募集活動は、適正に行われているか	100	0	0	0
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	100	0	0	0
3	入試を含め奨学生試験等は、厳正・公平な基準に基づき行われているか	100	0	0	0
4	学納金は妥当なものとなっているか	100	0	0	0

<課題>

広報力向上。

<改善策>

各種イベント参加など、積極的に広報の機会を増やす。

(8) 財務

	評価項目	評価 (%)			
		4適切	3ほぼ適切	2やや不適切	1不適切
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	100	0	0	0
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	100	0	0	0
3	財務について会計監査が適正に行われているか	100	0	0	0
4	財務情報公開の体制整備はできているか	100	0	0	0

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価 (%)			
		4適切	3ほぼ適切	2やや不適切	1不適切
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	100	0	0	0
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	100	0	0	0

<課題>

文書の管理。

<改善策>

不要文書のシュレッダー処理を励行。